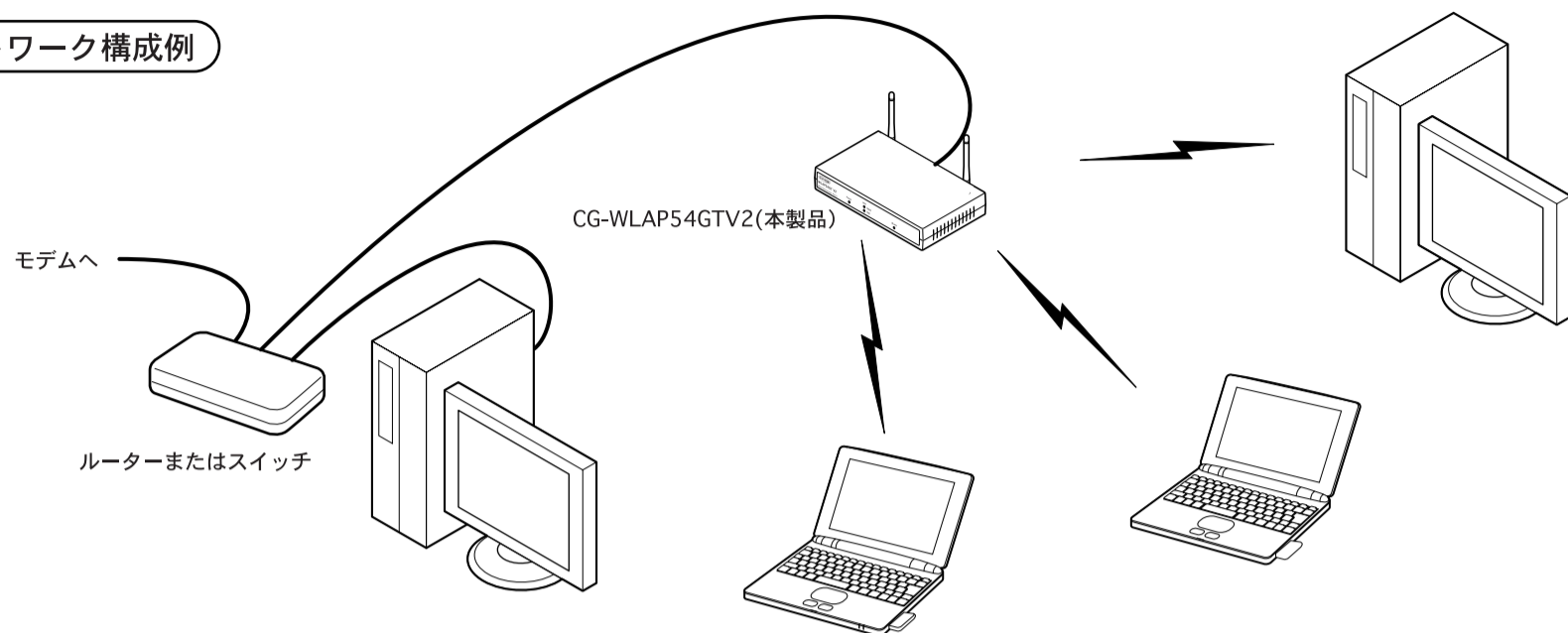
PN Y613-03131-01 Rev.B

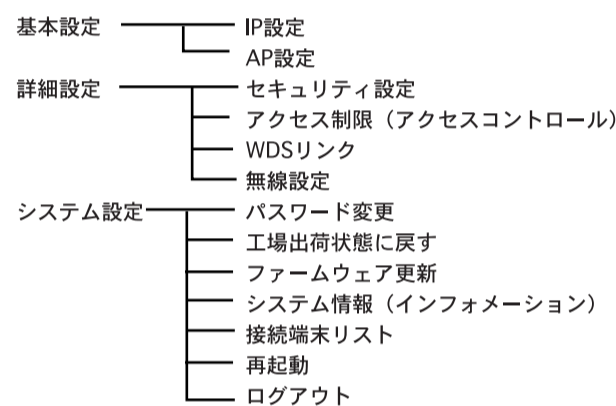
corega CG-WLAP54GTV2 取扱説明書

お願い
・本書と「はじめにお読みください」をよくお読みの上、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。
・本製品に接続する機器の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。
・本書に掲載の画面はWindows XP Home Edition Service Pack1を例に説明しています。ご使用のOSや機器によって、画面や手順が異なることがあります。

ネットワーク構成例

接続方法

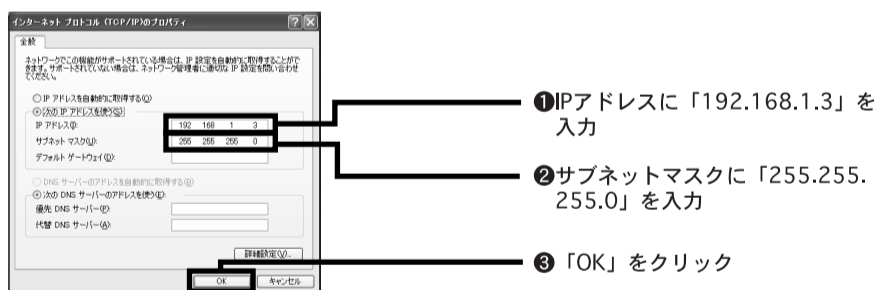
①ルーターやハブ、パソコンなどネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
②本製品背面のLANポートに付属のLANケーブルを接続します。
③ルーター、ハブのLANポートにもう一方を接続します。
④ルーター、ハブの電源を入れます。
⑤本製品背面のDCジャックに付属の専用ACアダプターのDCプラグを接続します。
⑥本製品のACアダプターをコンセントに接続します。本製品の電源が入り、本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯します。

企業内で使用する場合は、本製品との間にルーターやレイヤー3スイッチなどを挟んでいない箇所に、設定用パソコンを接続してください。ルーターが存在しないか、もしくはインターネット接続のためのルーターだけが存在する環境では考慮する必要はありません。

設定画面の構成

本製品の設定画面を表示させる

STEP1 パソコンのIP設定を変更する

1.「スタート」－「ネットワークとインターネットの設定」の順にクリックします。
2.「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
3.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
4.「次のIPアドレスを使う」をクリックし、「IPアドレス」に「192.168.1.3」、「サブネットマスク」に「255.255.255.0」を入力し、「OK」をクリックします。

❶IPアドレスに「192.168.1.3」を入力
❷サブネットマスクに「255.255.255.0」を入力
❸「OK」をクリック

STEP2 設定画面を起動する

1.Internet Explorerを起動して、「ツール」-「インターネットオプション」をクリックし、プロキシサーバーの設定を解除します。
2.URLアドレス欄に「192.168.1.230」を入力してください。

アドレス(D) 192.168.1.230 移動

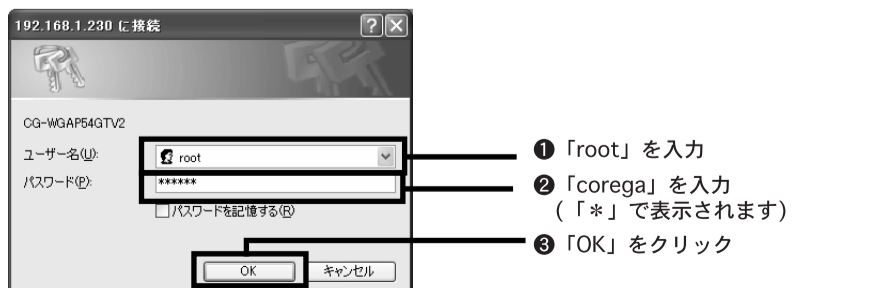
❶「192.168.1.230」を入力
❷「移動」をクリック

2.次の画面が表示された場合は、設定したユーザー名とパスワードを英数半角で入力し、「OK」をクリックしてください（下記の入力例は工場出荷時の設定です）。

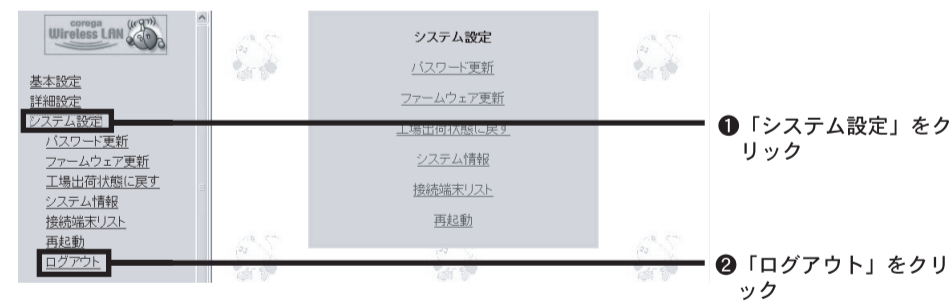
192.168.1.230 に接続
CG-WGAP54GTV2
ユーザー名(U): root
パスワード(P): ******
パスワードを記憶する(R)
OK キャンセル

❶「root」を入力
❷「corega」を入力（「*」で表示されます）
❸「OK」をクリック

3.「システム情報」画面が表示されます。

システム情報
アクセスポイント名 CG-AP54GTV2
MACアドレス 00:0A:79:25:33:97
ファームウェアバージョン Ver.3.2
IPアドレス 192.168.1.230
サブネットマスク 255.255.255.0
ゲートウェイ 0.0.0.0
DHCPクライアント Disable
ESSID corega
チャンネル 11 / 2.462GHz
暗号方式 OFF
アクセス制御 Disable

STEP3 設定画面を閉じる

画面左のメニューから「システム設定」をクリックし、「ログアウト」をクリックしてください。

❶「システム設定」をクリック
❷「ログアウト」をクリック

「アクセスポイントの設定を終了します」と表示され、下のようなメッセージ画面が表示されます。「はい」をクリックしてログアウトしてください。

❶「はい」をクリックする

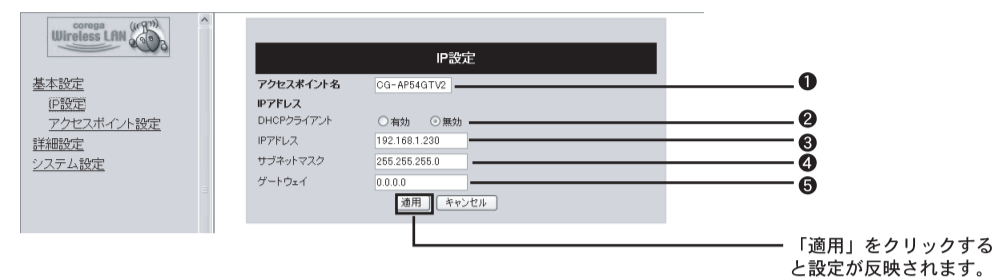
設定画面の詳細

本製品の入力はすべて英数半角で行ってください。

基本設定

●IP設定

本製品の基本的なネットワーク設定をすることができます。
メニューから「基本設定」-「IP設定」をクリックしてください。

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

項目名	初期値	説明
❶アクセスポイント名	CG-AP54GTV2	任意の名称に変更することができます。
❷DHCPクライアント	無効	DHCPサーバーからIPを自動取得にする場合は「有効」にしてください。※IP自動取得に設定した後、再度設定画面を表示させる場合は工場出荷時の状態に戻して設定してください。
❸IPアドレス	192.168.1.230	ご使用の環境に合わせてIPアドレス（クラスCのみ）を設定してください。通常はグローバールルーターのIPを設定します。
❹ サブネットマスク	255.255.255.0	ご使用の環境に合わせてサブネットマスクを設定してください。
❺ゲートウェイ	0.0.0.0	ご使用の環境に合わせてゲートウェイを設定してください。

●アクセスポイント設定

本製品の基本的な無線の設定をすることができます。
メニューから「基本設定」-「アクセスポイント設定」をクリックしてください。

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

項目名	初期値	説明
❶ESSID	corega	無線LANに接続する機器を判別する名前です。ご使用の無線LANアダプターと同じ設定にしてください。
❷ステルスAP	無効	「有効」にすると無線LANアダプターからの不正なSSIDの検索を防止することができます。
❸チャンネル	11/2.462GHz	本製品が使用するチャンネルを設定します。近くに他のアクセスポイントがある場合は、1〜13の間で変更してください。
❹モード	混在モード	本製品に接続する無線LANアダプターの通信規格を設定します。 混在モード：IEEE802.11b(11Mbps)、IEEE802.11g(54Mbps)を自動的に判別します。 11g(54M)固定：IEEE802.11g(54Mbps)に対応した無線LANアダプターのみ接続します。 11b(11M)固定：IEEE802.11b(11Mbps)に対応した無線LANアダプターのみ接続します。
❺送信帯域	AUTO	無線LANアダプターと本製品が通信する時の本製品の転送速度です。※通常は変更する必要はありません。

システム設定

●セキュリティ設定

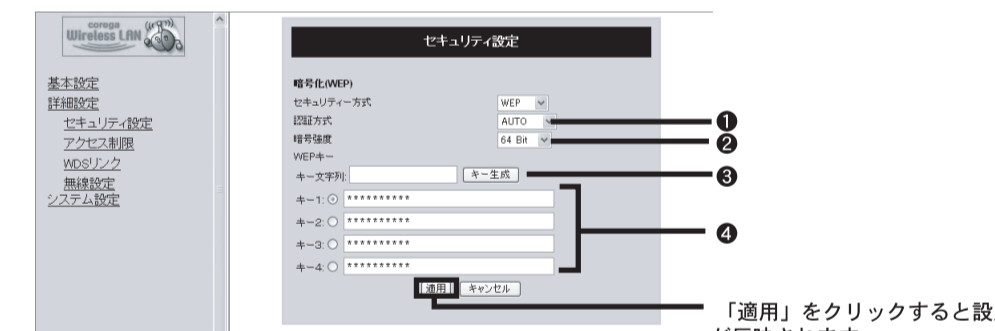
本製品の無線通信のセキュリティ設定をすることができます。
メニューの「詳細設定」－「セキュリティ設定」をクリックしてください。

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

項目名	初期値	説明
❶セキュリティー方式	OFF	「WEP」「802.1x」「WPA」の中から設定するセキュリティー方式を選択します。「OFF」を選択するとセキュリティ設定を解除します。

■WEPの場合

通信内容（データ）を暗号化し、不正な通信データの傍受を防ぐことができます。

「適用」をクリックすると設定が反映されます

項目名	初期値	説明
❶認証方式	AUTO	認証方式を選択します。
❷暗号強度	64Bit	「64Bit」「128Bit」のいずれかを選択します。
❸キー一文字列	-	「キー作成」ボタンをクリックし、入力した文字列をキーに登録することができます。 64Bit：16進数で10桁まで入力してください。 128Bit：16進数で26桁まで入力してください。
❹キー1〜4	-	送信する際に使用するキーを1〜4からラジオボタンをクリックして選択します。

■802.1xセキュリティーの場合

アクセスポイントに対して、ユーザー認証を設定することができます。

認証サーバーの設定をする場合はクリックしてください

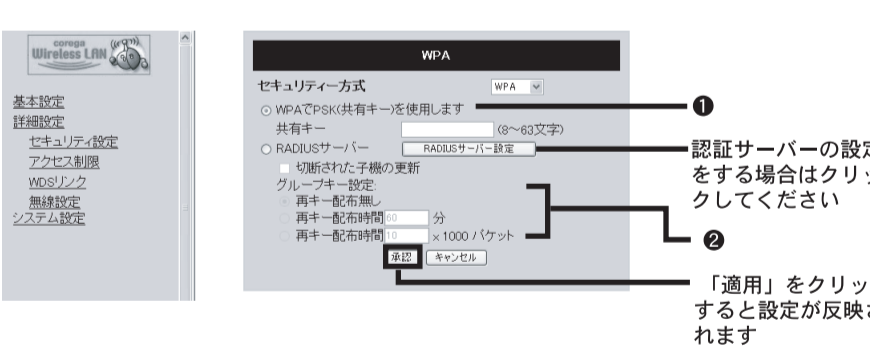
「適用」をクリックすると設定が反映されます

項目名	初期値	説明
❶暗号化ビット	64Bit	「64Bit」「128Bit」のいずれかを選択します。
❷グループキー設定	再キー配付無し	解除すると、更新の度にキー設定をすることができます。
❸更新間隔	-	時間（分）またはパケット量を入力し、更新間隔を設定することができます。使用したい設定をラジオボタンで選択してください。

■WPAの場合

通信内容の暗号化を一定時間ごとに更新し、より傍受されにくくすることができます。

認証サーバーの設定をする場合はクリックしてください

「適用」をクリックすると設定が反映されます

項目名	初期値	説明
❶共有キー	-	初回アクセス時のキーを設定します。
❷グループキー設定	再キー配付無し	時間（分）またはパケット量を入力し、更新間隔を設定することができます。使用したい設定をラジオボタンで選択してください。

認証サーバーの設定をするときには…

「802.1x」「WPA」を使用する際に認証サーバーの設定をするときは、「RADIUSサーバー」ボタンをクリックし、必要な情報を入力した後、「適用」をクリックしてください。
設定はご使用のネットワークサービスによって違います。入力に必要な情報は個々のサービス担当者に確認してください。

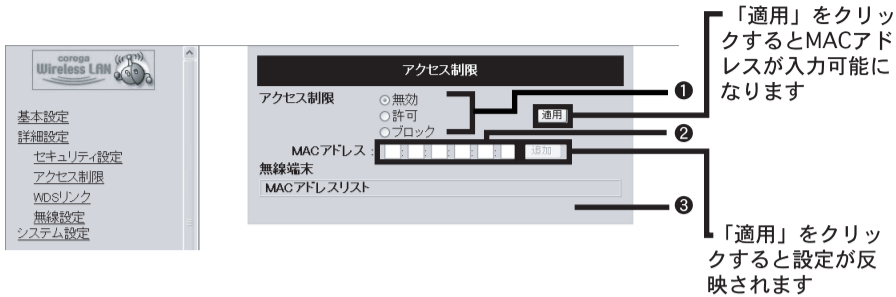
※弊社ではWindows 2000 serverのみで動作を確認しております。

裏面もご覧ください

●アクセス制限

本製品にアクセスする無線クライアントを設定することができます。
メニューから「詳細設定」-「アクセス制限」をクリックしてください。

「適用」をクリックするとMACアドレスが入力可能になります

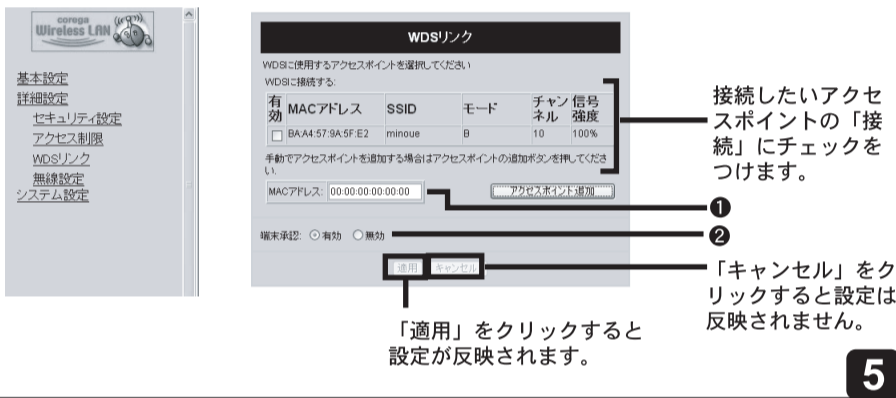
「適用」をクリックすると設定が反映されます

項目名	初期値	説明
❶アクセスコントロール	無効	接続可能な無線LANアダプターの数を制限します。「無効」「許可」「ブロック」のいずれかを選択し、「適用」をクリックしてください。
❷MACアドレス	-	接続する無線LANアダプターのMACアドレスを入力します。 ※推奨登録台数は16台です。 ※最大登録数は1024台です。
❸MACアドレスリスト	-	登録済みのMACアドレスが表示されます。

●WDSリンク

WDS(Wireless Distribution System）の設定をすると、アクセスポイント間の通信をすることができます。
メニューから「詳細設定」-「WDSリンク」をクリックしてください。
接続可能なアクセスポイントがリストに表示されます。

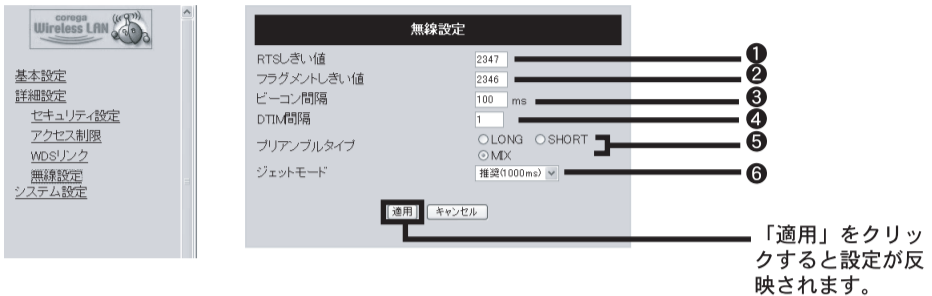
接続したいアクセスポイントの「接続」にチェックをつけます。

「キャンセル」をクリックすると設定は反映されません。

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

項目名	初期値	説明
❶MACアドレス	00.00.00.00.00.00	手動で登録したいアクセスポイントのMACアドレスを入力し、「アクセスポイント追加」をクリック登録します。
❷端末承認	有効	本製品に接続されている無線LANアダプターを含めてWDS接続されます。 ※通常は設定する必要はありません。

●無線設定

本製品の無線通信の設定をすることができます。
メニューから「詳細設定」-「無線設定」をクリックしてください。

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

項目名	初期値	説明
❶RTSしきい値	2347	RTS（送信要求）パケット送信時のしきい値を設定します。 ※通常は変更する必要はありません。
❷フラグメントしきい値	2346	設定されたしきい値を超えるパケットは分割されます。 ※通常は変更する必要はありません。
❸ビーコン間隔	100	アクセスポイントが常に発信しているショートパケット（ビーコン）の送信間隔を設定します。 ※通常は変更する必要はありません。
❹DTM間隔	1	DTIM(配信トラフィック・インディケータ・メッセージ)値を設定します。 ※通常は設定する必要はありません。
❺プリアンブルタイプ	MIX	通信時のプリアンブルを設定します。 Long：パケットごとに同じ量の情報を送るので、安定性があります。 Short：安定性は下がりますが、通信速度は上がります。 MiX：「Long」と「Short」を自動的に切り替えます。
❻ジェットモード	推奨(1000ms)	IEEE802.11gを優先的に通信させるので通信速度を向上させることができます。

システム設定

●パスワード変更

本製品のパスワードを変更することができます。
メニューから「システム設定」-「パスワード変更」をクリックしてください。

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

項目名	初期値	説明
❶旧パスワード	corega	現在設定されているパスワードが「＊」または「●」で表示されます。
❷新パスワード/新パスワードの再入力	-	新しく設定するパスワードを入力します。
❸パスワードを初期値に戻す	NO	「YES」を選択し、「適用」をクリックするとパスワードが初期値の「corega」に戻ります。

●ファームウェア更新

最新のファームウェアを入手した場合は以下の手順でファームウェアの更新を行うことができます。
メニューから「システム設定」-「ファームウェア更新」をクリックしてください。

1.入力欄に最新のファームウェアの保存先を直接入力するか、「参照」ボタンをクリックし、ファームウェアの保存先を指定してください。
2.「OK」ボタンをクリックします。
3.ファームウェアの更新が開始されます。更新作業中は電源をオフにしないでください。
4.更新の完了のメッセージが表示され、インフォメーション画面が表示されます。

5.以上でファームウェアの更新は完了です。
本製品の設定は、工場出荷時の状態に戻っていますので、ご使用の環境に合わせて本製品の設定を行ってください。

●工場出荷状態に戻す

本製品を工場出荷時の設定に戻すことができます。実行すると今までの設定は全て消去されますので、設定をあらかじめ控えておいてください。
メニューから「システム設定」-「工場出荷状態に戻す」をクリックしてください。

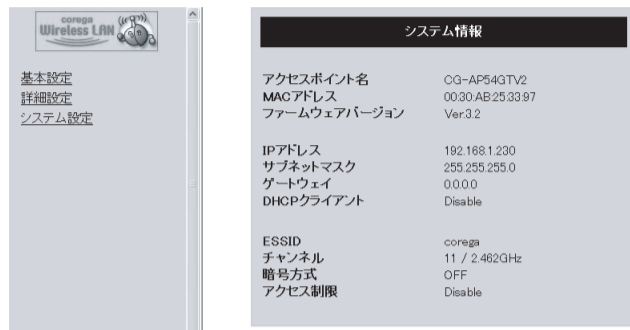
項目名	初期値	説明
❶工場出荷状態に戻します	NO	「YES」を選択し、「OK」をクリックすると、全設定を工場出荷状態に戻すことができます。

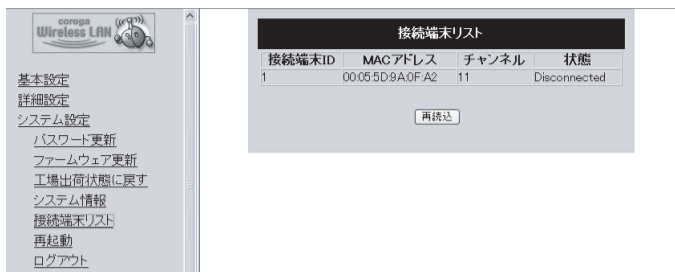
手動で工場出荷状態に戻すには…

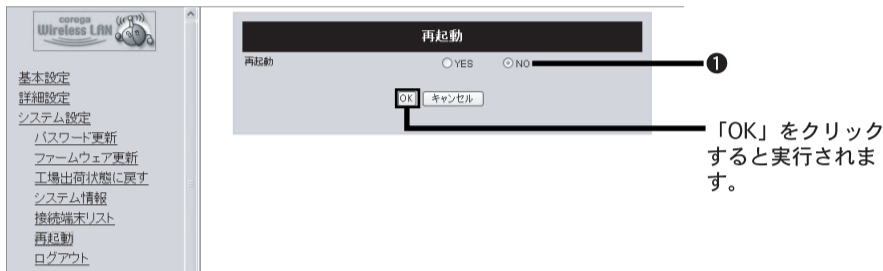
以下の手順で手動で本製品を工場出荷状態に戻すことができます。

1.電源がオンの状態で本体背面のINITを押してください。
2.全面のWLAN LEDが高速点滅したらINITスイッチを離してください。
3.以上で工場出荷状態に戻りました。

●システム情報

本製品の現在の設定を表示します。
メニューから「システム設定」-「システム情報」をクリックしてください。

●接続端末リスト

本製品に接続している無線クライアントを表示します。
メニューから「システム情報」-「接続端末リスト」をクリックしてください。

●再起動

本製品を再起動したい場合に行います。
メニューから「システム設定」-「再起動」をクリックしてください。

「OK」をクリックすると実行されます。

項目名	初期値	説明
❶再起動	NO	「YES」を選択し、「OK」をクリックすると、全設定を本製品を再起動することができます。

トラブルシューティング

■本製品の設定画面が表示されない

●設定用パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

設定用パソコンにTCP/IPがインストールされているか、IPアドレスなどTCP/IPの設定が正しくできているか確認してください。

●パソコンに無線LANアダプターのドライバーや設定用ソフトウェアが正しくインストールされていませんか？

ご使用の無線LANアダプターの取扱説明書を参照して、ドライバーや設定用ソフトウェアが正しくインストールされているか、確認してください。

●プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

Internet Explorerでプロキシサーバーを使う設定になっている場合、本製品の設定画面が表示されません。以下の手順でプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

1.「スタート」－「コントロールパネル」の順にリックし、「インターネットオプション」をダブルクリックします。
2.「接続」タブをクリックし、「LANの設定」ボタンをクリックします。
3.「設定を自動的に検出する」と「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外してください。

●Internet Explorerが「オフライン接続」になっていませんか？

Internet Explorerのメニューから「ファイル」をクリックし、プルダウンリストの「オフライン作業」にチェックマークがついていないか確認してください。ついている場合は「オフライン作業」をクリックしてチェックマークを外してください。

■無線LANアダプターを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない

●電波状態は問題ないですか？

本製品の使用環境によっては、「通信できない」、「通信速度が遅い」などの問題が発生します。下記の表を参考にして使用環境を確認し、本製品の設置場所を変更する、障害物を取り除く、無線LAN製品間の距離を短くするなどの対策を試してください。

	物質の種類
電波を通す物質	木材、ガラス
電波を通さない物質	石、レンガ、セメント、コンクリート、鉄

●無線LANアダプターと本製品の無線設定は合っていますか？

以下のことを確認してください。
・通信モードが「Infrastructure」になっているか
・ESSIDに本製品と同じ文字列が設定されているか
・WEPまたはWPAが設定されてる場合は本製品と無線アダプターに同じ設定になっているか
・チャンネルの設定はあっている

●パソコンのパワーマネージメント機能、サスペンド機能が動作していませんか？

パソコンの取扱説明書を参照し、設定を解除してください。

●本製品のLANポートに接続した機器は正しく動いていますか？

本製品に接続しているかどうかそれぞれの取扱説明書を参照し、正しく動作しているか確認してください。

■本製品のパスワードを忘れた

本製品を工場出荷状態に戻してから、新しいパスワードを設定してください。

■ファームウェアの更新に失敗した

本製品を工場出荷状態に戻してから、再度ファームウェアの更新を行ってください。

2004年 1月　初版
2004年 2月　第二版